

週報

令和 4 年 4 月 8 日

2021~2022年度 No.18

2021-22年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

プログラム

S A A 三村 剛孝君

☆ 点 鐘

☆ ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆ 四つのテスト斉唱

☆ 北島博志君へ黙とう

☆ I M 御 礼

☆ 戸田君へ生け花写真贈呈

☆ 会長の時間

☆ 幹 事 報 告

☆ 委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆ I Mホストの御礼

☆ 部 内 卓 話

「日本のエネルギー情勢と家庭でできる
省エネ対策について」

出口 雅昭君

☆ 点 鐘

☆ 食 事 懇 談

現 在 会 員					3 2 名			前々回の欠席者 (3 /25)					1 0 名		
本 日	出席 1 9 名		欠席 8 名		免除 (a) 欠席 3 名		出席率 7 0 . 3 7 %								
					免除 (b) 欠席 2 名										
前 々 回	出席 1 8 名		MU 0 名		免除 (a) MU 3 名		修 正 率 6 4 . 2 9 %								
					免除 (b) MU 2 名										
月 別 出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度 74.94	休会	休会	81.53	77.59	73.49	85.71	休会	70.49						
	前年度 83.33	87.63	79.27	76.75	80.65	80.27	全休会 (0)	75.93	78.09	82.34	全休会 (0)	80.48			

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分~13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 山 下 克 己
副 会 長 吉 田 泰 之
幹 事 橋 本 武 敏
雑誌:会報委員長 出 口 雅 昭

北島博志君へ黙とう

I M 御 礼

I M実行委員長 吉田 泰之君



2022年 4 月 2 日

戸田君へ生け花写真贈呈



会長の時間

会長 山下 克己君

皆様こんにちは。

今日は、悲しい話からです。昨日、訃報が届きました。私たちの長年の友である北島博志さんが、遠くへ旅立たれたということです。まことに残念で悲しい限りです。心からお悔やみを申し上げ、ご冥福を皆様方と一緒に祈りたいと思います。

さて、本日は4月8日、4月度、第2例会、通算第18例会となります。18回目の会長の時間を務めさせていただきます。

まずは、4月2日開催のI Mについて、皆さまたいへんお疲れ様でした。皆様方の一致団結したご協力のおかげをもちまして、無事、何事もなく終了することが出来ました。基調講演も記念講演も素晴らしいもので、遠来のお客様にも満足いただけるものであったと思っています。また準備、設営、受付、接待、撤収と、皆様方のご苦勞に対し、重ねてお礼と感謝を申し上げます。故才津為夫様の奥様、才津重子様には大きなお花の飾付をしていただきました。そのほか、多くの関係者の皆様のご協力も頂いております。心よりお礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございます。

それにしても、当日は皆様の慰労会もできず残念で、また申し訳ない思いでいっぱいです。すべて私の不徳の致すところではありますが、少々弁解をさせていただきます。まず、持ち帰りの折詰ですが、本会員の分は準備しておりませんでした。というのは、当日の必要数の予測が困難ということから、余った時の対応策として、そのようにいたしました。また、慰労会についても、コロナ禍ではありますが、少人数に分かれてということも考えましたが、大会の慰労会を中止する以上、主催者としては無理がある。また夜の街にも、あまりに多くの人出があるのも問題だし、遠来のお客様にご不自由をかけられないという思いで、中断と判断いたしました。後で聞いた話ですが、福江中央クラブの皆様も、そのご配慮をいただいて、ご協力をいただいたということです。誠にありがとうございます。御礼を申し上げたいと思います。それについても、先の火曜日、吉田実行委員長にご同行頂いて、例会に参加してお礼を申し上げてまいりました。皆様方にもご配慮を、よろしく願います。

弁解が長くなりましたが、もう少しだけ願います。実は今日、当会場に魚を持ち込んでおります。私の心からの感謝の気持ちと、ご理解いただきたいと願っております。ただ、私は皆様のご自宅をほとんど知らないのです、お持ち帰りいただきますよう、よろしくお願いいたします。また、慰労会については、可能な状態となれば必ず実施したいと考えております。その節は、また皆様のご協力をお願いいたします。長くなってしまいましたが、以上で会長の時間を終わります。ご清聴ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事 橋本 武敏君

『当クラブ関係』

1. 理事会報告

先週4月1日に開催されました第6回定例理事会において、次の通り決議されました。

①本日の例会を含め5月13日までの例会開催について、既にFAXにてお知らせしました通り、ゴールデンウィーク中の4月29日と5月6日を休会とする以外は、食事懇談をプログラムの最後に移動、自由参加とし、12:00から例会を開催致します。

②現在、カンパナホテルに保管していた過去の資料を整理しているところですが、その際現金合計96,396円が発見されました。この全額を雑収入としてクラブ会計に繰り入れることとなりました。

2. 福江ロータリー杯 五島市中学校軟式野球大会について

4月9日(土)に福江ロータリー杯五島市中学校軟式野球大会が開催されます。開催要領の詳細については、後程、宮本青少年奉仕委員長より連絡が御座います。

『地区関係』

1. 会長幹事会報告

4月2日(土)10:30から2021-2022年度第2740地区第9・第10グループ 第3回会長幹事会が開催されました。次年度の親睦ゴルフ大会のホストクラブが長崎出島ロータリークラブに決定したほか、各クラブからコロナ禍における近況報告がありました。

『その他』

1. 福江中央ロータリークラブ週報第20号

委員会報告

出席報告

◆ 4月8日(免除(a)欠席者)

中村 博義君 植松 郁雄君 釜崎 洋君

◆ 4月8日(免除(b)欠席者)

谷川 和啓君 佐々野邦久君

◆ 4月8日欠席者

片山 雅文君 松岡 孝博君 神之浦文彦君
谷川 久利君 山里 一郎君 有川 真史君
小畑 和男君 坂井 成光君

親睦委員会

スマイル報告

◇山下 克己君 IM、皆様お疲れ様でした。

◇吉田 泰之君 //

◇出口 雅昭君 つたない卓話ですが、よろしくお願いします。

◇橋本 武敏君 IMお疲れ様でした。

◇山下 実君 //

◇中村 陽二君 //

◇柳田 靖夫君 //

◇才津 喜彦君 //

◇西上裕一郎君 //

◇三村 剛孝君 //

◇森田 大輔君 //

◇清瀧 誠司君 出口雅昭さん、卓話よろしくお願いします。

◇中村 栄治君 //

◇戸田 博之君 //

◇張本 民雄君 //

◇中村 吉廣君 //

◇平村 和弘君 //

◇宮本 光藏君 //

◇寺澤 信義君 //

合計 28,000円

通算合計 459,000円

IMホストの御礼

第9グループガバナー補佐 張本 民雄君



皆様こんにちは・・・第9Gガバナー補佐として「IMホストの御礼」を申し上げます。

その前に、先程ご報告がありましたが、昨日の午後、ガバナー補佐の先輩であり、会長年度には私を幹事として指名し、ロータリアンとして育てていただいた当クラブリーダーの第一人、北島博志さんがご急逝されました。

安らかな「かんばせ」でしたが、「もう少し余生を楽しんで頂きたかった」、と言うのが私の本当の思いであります。

本当に残念です・・・心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて皆様方には、4月2日に行われました「国際ロータリー第2740地区第9・第10グループインターシティミーティング」、そして翌日の「IM記念ゴルフ大会」と、本当にお疲れ様でした。

又、ホストクラブとしてのお役目、有り難うございました。

吉田実行委員長・山下会長、そして会員の皆様方に心から感謝申し上げます。

IMが終わった翌日には、ご参加された多くの方々から「お礼の言葉」を頂きましたので、少しご紹介させていただきます。

塚崎ガバナーから。

「昨日はIMご盛会でおめでとうございます。そして、楽しい晩餐会まで開いて頂き、お礼の申し上げようもございません。とても、楽しかったです。

(中略しまして)

そして、何時も美味しいお魚とお菓子をお土産に頂きまして又々感謝です。山下会長さんにも宜しくお伝え下さいませ。五島はとても楽しくて人情にあふれた素晴らしい所でした。感謝申し上げます。」

岩永バスターガバナーから。

「大変お世話になりました。皆様の温かさに感謝します。」

第10G梅本ガバナー補佐から。

「昨日のIMお疲れ様でした。夜の懇親会、気遣い一杯で、有り難うございます。とても意義のあるIMだったと思います。又の再会を楽しみにしています。」

第9G江上前ガバナー補佐から。

「ガバナー補佐として、重要な行事を無事終わられて、ほっとされている事でしょう。藤永さんの記念講演も、とっても良かったです。お弁当も海の幸・山の幸・肉・魚、充実した内容でした。懇親会が無かった事も、皆さん理解して下さいと思います。ご苦労様でした。」

長崎西RC嶽本会長から。

「昨日、今日とお世話になりました。五島の方達の温かさに感激した二日間でした。送迎してくれた中村さんとゴルフで一緒だった山下さん、庄野さんにも宜しくお伝え下さい。」

等々、本当に良かった！良くして頂いた！と、感謝のお言葉を沢山頂きました。

これも偏に、皆様方のおもてなしのお陰であります。本当に有り難うございました。

心より感謝を申し上げ、御礼の言葉と致します。

部 内 卓 話

「日本のエネルギー情勢と 家庭でできる省エネ対策について」

出口 雅昭君



つたない卓話になりますが、よろしくお願い致します。

私の今日の卓話は、「日本のエネルギーと家庭でできる省エネ対策について」です。

私は電力会社に勤めておりますので、現在のエネルギー価格の高騰やセキュリティについて直接的に影響を受けており、また皆さま方も同様だと思います。

あまり詳しい知見は持ち合わせていませんので、日本のエネルギー自給率や消費などについて紹介し、そのあと電化製品の省エネ方法について簡単に述べさせていただきます。

まず、最初のページをご覧ください。これは電力10社の電気料金比較です。各社の電気料金の差を見せているのではなく、この一年間に電気料金がどれだけ高騰したかということをお示ししています。

日本はエネルギー自給率が、わずか10%程度と省資源国です。エネルギー資源の大部分を輸入に依存しており、世界の情勢に大きく影響されるため、エネルギーセキュリティの確保が極めて重要となります。このため、電力供給においては長期的なエネルギーの安定確保や地球環境問題への

対応等を踏まえ、原子力や火力・再生可能エネルギー等をバランスよく組み合わせることが必要となります。

2-1

- ・日本は、1960年代から石油危機までの高度成長期において、石油に高く依存するエネルギー供給構造でした。1973年の石油依存率は実に77%でした。
- ・しかしながら、石油危機により原油価格の高騰を経験した日本は、エネルギー供給の安定を図るため、原子力や天然ガス等のエネルギーの導入を進めてきました。2019年度の石油依存率は38%まで低下しました。

2-2

- ・日本は1960年代の高度成長期において、産業部門を中心にエネルギー消費量が増加しましたが、1970年代の石油危機を契機に省エネルギー化が進み、2004年度をピークに消費量が減少傾向にあります。

2-3

- ・1965年度には、石炭が家庭のエネルギー源の3分の1以上を占めていましたが、その後、灯油・電気・ガスに代替しました。
- ・近年は家電製品の普及、大型化、多様化などにより、電気の割合が大幅に増加しています。

2-4

- ・家庭の用途別エネルギー消費の割合は、家電機器の普及・大型化や生活様式の変化などにより、動力、照明、家電機器の使用が増加しています。

2-5

- ・日本の自給率は、1960年代には石炭や水力等の国内資源により約6割でしたが、高度成長期におけるエネルギー需要の増大により、国内炭から石油や海外炭、LNG等の海外資源への転換が進み、大幅に低下しました。
- ・2011年以降は、原子力発電所の停止により自給率はさらに低下し、2014年には過去最低の6.3%となりました。2019年には、再生可能エネルギーの導入や原子力発電所の再稼働が進んだため12.1%となりました。

2-6

- ・1990年代に20ドル前後で推移した原油輸入価格は、2000年代半ばから2010年初頭にかけて、中国などの新興国の経済発展による需要の増加などの影響を受け、2001年比で4～5倍程度の高値で推移しました。
- ・2015年以降は、中国など新興国の需要が伸び

悩む一方、原油価格の高値推移を背景とした原油増産が続いた事等による世界的な原油の供給過剰感のため急落しましたが、世界的な景気拡大による需要増大や産油国による協調減産により、2017年には再び上昇しています。

2-7

- ・日本は、石油危機の経験からインドネシアや中国からの原油輸入量を増やすなど、輸入先の多角化を図り、1967年に91.2%であった中東地域からの輸入割合を1987年には67.9%まで低下させました。
- ・近年は中東依存度が再び上昇しており、2019年度は89.6%となっています。

2-8

- ・日本の発電電力量は、東日本大震災後の2011年度に減少し、それ以降もゆるやかな減少傾向が見られます。
- ・電源別の構成比では、2011年度以降の原子力発電所の停止により、火力発電の割合が増加しています。

次は、日本のエネルギー政策の基本方針と将来の一次エネルギー供給と電源構成です。QA方式で資源エネルギー庁が出しているものです。

最後に、最近のエネルギー価格の上昇を受け、冒頭申し上げたとおり家庭用の電気料金が上昇していますので、少しでも使用量を抑えるために、各電化製品ごとの省エネ対策について当社が発行したパンフレットをお配りしていますので、ご覧ください。

以上で卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。